

葉

を見る

左はヨブスマソウの葉
右はミゾソバの葉



アイヌ語名は()内に

これでも1つの葉 - 複葉



キンミズヒキの葉。円内で一つの葉



キジムシロ。円内で一つの葉

葉にはいろいろな形があります。いわゆる葉っぱ形から、ギザギザが大きな葉、深く切れ込んだ葉など様々です。

切れ込みが深くなつた先は？小さな葉に分かれてしまいます。でもこれらの小葉（しょうよう）が集まって一つの葉なのです。



ミツバツチグリ。
三つ葉で一つの葉



ルイヨウショウマ。
円内で一つの葉



クサフジの葉。
円内で一つの葉



アカツメクサ=ムラサキツメクサ(外来種)。三つ葉で一つの葉

向かい合ってつく葉 - 対生(たいせい)

茎からでる葉は、多くの場合一つずつ互い違いにでます(互生=ごせい)。

しかし、中には茎から向かい合って生える葉もあります。こういった生え方を対生(たいせい)と呼びます。



エゾイラクサ(モセ)。葉が向かい合う=対生



オトギリソウ。葉が向かい合
ってつく=対生



ヒヨドリバナ。葉が向かい
合ってつく=対生



互生のオオイタドリ
(クツタル)

❖ 輪になってつく葉 - 輪生 (りんせい) ❖



輪生の代表(?) ツリガネニンジン (ムケカシ)



ヨツバヒヨドリ。輪生

向かい合ってつく葉のうち、2枚だけでなく3枚以上の葉が同じ高さでぐるりと茎を取り囲むように生えているものもあります。こういう生え方を輪生(りんせい)と呼びます。



クロユリ (アンラコル) 輪生



クサレダマ。輪生



互生のエゾスカシユリ。らせん状に生えていて輪生ではない

❖ そのほかこんな葉も ❖



アヤメ。葉が地面から出る



ミズバショウ(パラキナ)。葉は地面から直接出る

茎くきからではなく地面ちやくせつから直接でる葉こんしゅつよう(根出葉)、毛のある葉、黒点のある葉などがあります。あるいは、ランの仲間でありながら葉を持たないオニノヤガラもあります。



ユキザサ(ベベロ(根))。葉の裏に毛が生える



オオヨモギ(ノヤ)。葉の裏に毛が生える



オトギリソウ。葉に黒点がある



オニノヤガラ(ウニンテフ)。葉をつけない

参考文献

「アイヌ植物誌」 福岡イト子 草風館 1995
 「図説花と樹の大事典」 木村陽二郎 監修 植物文化研究会・雅麗 編集 柏書房 1996
 「日本山野草・樹木生態図鑑」 沼田真 全国農村教育協会 1990
 「改訂版 牧野新日本植物圖鑑」 牧野富太郎 北隆館 1989
 「北海道植物図譜」 滝田謙讓 自費出版 2001
 「日本の野生植物 草本Ⅰ～Ⅲ」 佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1981, 1982
 「森林で遊ぼうシリーズ3 おもしろい草花の話」北海道立林業試験場 北海道林業改良普及協会 1998